

平成 28 年 6 月 17 日小方地域まちづくり対策特別委員会 議事録

11 時 29 分 開会

○細川委員長 おはようございます。予定の時間より若干早いですが、ただいまより小方地域まちづくり対策特別委員会を開会いたします。

市長お見えですので、御挨拶あればお願いいたします。市長。

○入山市長 小方地域まちづくり対策特別委員会開催ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

○細川委員長 ありがとうございます。それでは早速日程に入ってまいります。

日程 1、平成27年陳情第 2 号、小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情を議題といたします。本件は 3 月 4 日の審査からの継続審査になります。既に執行部からは御意見をいただいておりますが、新たにつけ加えることがございましたらお願いいたします。

建設部長。

○坪浦建設部長 特に補足説明ございませんので、よろしくお願いいたします。

○細川委員長 ありがとうございます。では、委員の皆様におかれまして執行部に確認したいことがございましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○細川委員長 ないようですね。それでは本件の取り扱いについて、皆様に意見を求めたいと思います。継続審査などの御意見がございましたらこの場で述べていただき、賛成・反対の討論をその後にしたいと思います。何かございますでしょうか。

賀屋委員。

○賀屋委員 3 月の委員会での中身と状況と変わっておりませんので、特段新たな動きがあったということでないということであれば、この審議も継続ということにしてはどうかというふうに考えます。以上です。

○細川委員長 ただいま継続にという意見がございましたが。

日域委員。

○日域委員 私は継続に反対するものじゃもちろんございません。継続でいいと思うんですが、この委員会だったような気がするんですが、3 月ごろにですよ、これじゃないかもしれませんね。小方というのはいろんな意味で、今いろんな状況にありますからね。公園だけ取り上げてどうこうというのは難しいかもしれません。

前年度、大和部長がおられたときに、私案なら持ってるって部長がおっしゃいました。それは私案を見に行きました。内容は今言いませんけども、言いませんけどもその案は県には上がってるっておっしゃってました。もちろん私案ですから、どこにいこうがどうしようがいいんですけども、どこまでいったらいいんか知りませんが、何もなけりやできませんからね。それが最後の段階になってぼろっと出てくるのもどうかなと思うし、最初から示してしまえば、またまとまるものも壊れてしまうかもしれないし、難しいなと思いますけども。少なくとも個人的な立場であれば見せるって大竹市の部長がおっしゃって、私が部長のところに行ってラミネートにちゃんとラップした絵を見せてもらいましたので、

そこまでは言っときます。この案については継続で結構です。

○細川委員長 それでは継続審査の意見がございましたので、継続審査について採決を行います。

本件を閉会中の継続審査とすることに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○細川委員長 起立多数と認めます。よって、本案権は閉会中の継続審査とするべきものと決しました。

それでは続きまして日程第2に入りたいと思いますが、ここから先は特別委員会の中で意見交換になってまいりますので、執行部の皆さんには特段残っていただかなきゃいけない理由ございませんので、御退席いただいて結構かと思います。

それでは日程2、先進地事例調査研究についてを議題といたします。

3月の特別委員会のときに、当初予算において小方のまちづくり構想の予算などが上がってきてまして、執行部のほうも駅、あと駅へのアクセス道、あとこの小方地域のまちづくり構想についてつくっていくというふうな報告を受けまして、うちの委員会としても駅を中心としたまちづくりをしているところの先進例いいところがあれば、タイミングをとって執行部のほうにもいろいろ情報交換するためにも1回勉強してきたらどうかといった提案をさせていただきました。

今回は行き先をどうしようかというのが主なテーマになってまいります。皆さんにもどっかいいところがあったらということで、情報提供お願いしておりましたところ、賀屋委員から御意見をいただいておりますとともに、あと下のほうの綾川町というのは、これはちょっと事務局といろいろ情報を調べましてここはどうかということなんですけれども、ちょっと幅広く賀屋委員からは御意見いただいておりますが、せっかくですのでお考えをお願いします。

○賀屋委員 それでは10日までに意見があれば出してくださいということがありましたので、私なりに今までの中での思いを出させてもらいました。

まずこのまちづくりの必須条件であるJRの小方駅ですね、仮称ですけども。これは先ほどありました3月の補正が6月に今移行をされようとしてますけれども、基本構想の策定業務の中で確定をしていき、また事業化へも1歩踏み出しているということになりますので、つまりはJRと駅そのものの協議というのはJR側と執行部側のほうが具体的な今の条件を踏まえて場所はどこでどれぐらいの規模で、またどういう構造でどれぐらいになりますよねというような話を具体的に進めるための概略設計をしていくということで、こちらのほうから例えば、この委員会のほうからこんな駅舎にしてくれとか、こんな規模にしてくれとか、それは今度JRのほうの一定の基準の中で決まっていく問題ですし、駅という1つの設置というのが目的ですから、中身のどういうふうにしていくということよりも、駅を使ってこの町をどう活性化していくか、つまり駅は人を集めるための手段でございますので、その設置に向けてその方向性が決まって協議が始まるということであれば、その駅の内容についてどうこういうべきものではないだろうということでございます。

しかしながら、どういう状況でどのぐらいの進捗をしていくのかというようなことにつ

いての状況は情報をいただきながら、必要に応じていやもっとうとしたほうがいいんじゃないのということがあれば、意見を出していけばいいんじゃないかと思います。

また、まちづくりについても同様にですね、基本構想の策定業務というのを発注しますので、これは専門家に、コンサルティングに発注するわけですから、その中で専門的なまちづくりをどう考えていくのかということ意見をもらいながら、そこでまた委員会としての意見があればすり合わせていくということでもいいんじゃないかなと、つまり事業化として進んでいくということに対して、今から必要な意見を、どういうふうにすり合わせていくかということの作業でいいんじゃないかなというふうに思います。そういうことで、このまちづくり委員会の中で意見を集約するとしたら、やっぱり成功した先進地をですね、視察に行くということであれば意味があるんじゃないかなと、また逆に失敗した例もあるかも知れませんが、その成功した要因は何になるかというところを小方のまちづくりにも生かせるような視察であればいいんじゃないかなというふうに思います。今のようなか状況の中で、本当にこの委員会としてどういう取り組みをしたらいいのかということで、意見を求められるとしたらいわゆる国というのは国交省であるとかですね、そういうところの専門家の方、あるいは学識経験者の方、まちづくりの専門家ですね、の方を招いて意見を今後どういうふうな今の大竹の現状を把握してもらった中で、どういうまちづくりに向けて、議会として何をすべきなのかということを改めて参考意見を伺うというのも1つの手ではないかなというふうに思います。

それと合わせてやはりスピードアップをしていくためには、当然予算の財源の問題もありますし、予算の優先順位の問題もあります。そういう中で機運を高めるためには、やはり市民の声というのは無視するわけにはいきませんので、市民を対象にして理解を得るためにですね、まちづくりシンポジウムというものを開催する。これは市のほうが主体というんではなしに、この委員会が主体でもいいと思うんです。そうしてその意見を集約することによって推進力になるんじゃないかなというふうに思います。以上簡単ですが。

○細川委員長 ありがとうございます。執行部のほうも具体的に動きを始めているということもありますので、うちの委員会としたらタイミングを見ながらうちからも執行部に対して御意見を申し上げていくという形にはなっていくと思いますが、そのためにも賀屋委員のほうから2、3、4といった具体的な案をいただきました。今までの話の中でまずは成功例、まちづくりも含めた駅をやったところを視察に行ったらどうかというふうな順番になってくるとは思いますが、いかがでしょうか皆様。

○日域委員 四国のことは詳しくないんですが、これ私鉄ですね。

○細川委員長 済みません、じゃあちょっと次のほうを説明しましょうか、そしたら。

○日域委員 2、3、4って何、今の。

○細川委員長 賀屋さんが、今の紙の2、3、4です。

じゃあちょっと2枚目の綾川町について、実は前回のときに賀屋さんから福岡のほうでもあるというような御提案をいただいたんですけども、調べてみたんですけど福岡はベッドタウンとしてのまちづくりというような形でして、今から小方の駅中心にまちづくりしていくものとはベッドタウンという位置づけはまだないので、むしろ違う形のほうがいい

んじゃないかということで、違うところを少し探してみました。ということで見つかったのが、この香川県綾川町。こっから高速使って橋を渡って3時間ぐらいの距離にある町のように。人口規模も大竹と大体同じぐらいということで、中身についてはまだこの程度しかないんですけども、新駅つくったのが25年12月ということで、この駅の周りにイオンモールとかそういった大規模な商業施設もあったりして、割と形がこの付近に似ているかなという印象を受けました。まちづくり構想などもつくりながら、新駅をつくっていったという状況のようです。25年なんでそろそろ評価のほうも出ているようなんで、その辺も話聞けるかなというということで、ここの綾川駅中心にしたまちづくりを学んできたかどうかということで提案させていただきたいと思っております、ということです。

いかがでしょうか。あの日域さん何か。

○日域委員 私鉄ですよ、琴電ですよ。

○細川委員長 ちょっとそこまで私。琴平線って書いてありますね。

○日域委員 要は広電から楽々園の駅があって、もちろんあそこは自分ちの土地ですけども、ショッピングモールがあってというような感じかなと。民間とのプロジェクトだったら若干色が違うかなという気がしたんですけどもね。正直詳しくないんですよ、四国のことはね。琴電、琴平電鉄だと思うんですね、だからそういう意味じゃローカルの私鉄の会社かなという気がしまして。深いことはいいですけど。

○細川委員長 済みません、まちづくりと駅ということでね、探していたものですから。JRじゃなければということで探しておりませんので、このような結果になりました。JRになってくるとなかなかいいタイミングのところがなかったというのが状況です。

〔発言するものあり〕

○細川委員長 済みません、ちょっとそこまでは調べてなかったんですけど、JRじゃなかったらやめますか。

○日域委員 まあ前提条件はひよっとしたら少し違う。

○細川委員長 まちづくりと合わせて、まちづくり構想をつくりながら2回ぐらい、3回構想書いてましたっけ。市民の意見も取り入れながらという形でどうもつくっている、この綾川町はつくっているようでございました。これから構想つくっていくのに参考に、手法も合わせて参考になるのかなというふうに思って、まあJRについてはこないだ和木駅のほうでかなり厳しい話も聞いてまいりましたし、ある程度わかっている部分もあるので、必ずしもJRじゃなくてもいいんじゃないかとは思ってるんですけども。

賀屋委員。

○賀屋委員 今のこの町はどの程度の整備が進んでいるんですかね。もう中心としたまちづくりはほとんど施設整備が終わっているのか、途中なのか、25年12月ですから2年ちょっとぐらいですよ、駅ができたのが。その辺がわかれば。

○細川委員長 ちょっと待ってくださいね。私この間いただいた資料、どこいっちゃったかな。ちょっと資料とってきますので、若干休憩させてください。

11:47 休憩

11:49 再開

○細川委員長 再開いたします。

委員の皆様には大変申しわけないんですけども、きょうはそこまで皆様に情報提供しようというつもりで準備をしておりませんでしたので、先進地を見に行こうかと、そのあたりでこの辺はどうかというあたりで御相談しようと思っておりましたので、今御紹介できるのは平成24年3月に社会資本総合整備計画というのを綾川町がつくっておられて、これが3回ほど計画を変えてるんですけども、これちょっと物すごい小さい字で細かくあるものですからね、ざっくりと皆様に御説明する用意ができておりませんので、もしこ候補にということで御了解いただけるのであれば日程調整とか中身のこととかいうのをもう少し。

○日域委員 日帰り。2泊3日。

○細川委員長 今のところ日帰りではどうかと。

○日域委員 強行スケジュールでね。はい。

○細川委員長 場所は3時間ほどっていうふうに、調べてもらったんですけど、朝少し早目に出れば午後から2時間ぐらいの視察をして、夕方には帰ってこられるぐらいの距離になります。ただ、どうなんですかもうちょっとまた、例えば四国とか行く途中で、道中でここも見たいところがあるということであれば1泊ぐらいの予算は、局長どうでしょうか。

○福重事務局長 はい。大丈夫です。

○細川委員長 大丈夫ですか。視察の予算のほうは御準備いただいているようですので、いい場所があるということであればどっか泊まってもう一つ、二つ見れると思いますので、いかがでしょうか。

日域委員。

○日域委員 車でいったら申しわけないね。駅を見に行くんじゃない。

○和田委員 電車でいけと。

○日域委員 それは探してみたいのがあればですよ、それは構わないと思いますが、下調べが行かなくてもできることがあるんで、それをしたいなとまず思いますよね。以上です。

○細川委員長 行かんでもいいといった御意見は今のところいただいておりますので、行く方向でもう少し内容調べてみて、皆様にももう少し近くでこういうところもいいところがあるということであれば情報提供いただくような形で、視察に行く方向で少し調整をしてみたいと思います。それでよろしいでしょうか。

○末広委員 先進地視察でこの2番ですね、活性化に成功した事例を研究し、参考にする。まずこの場合の成功を推しはかる指標とすればですね、例えば利用客ないし周辺へ向けての民間資本の導入だとか、きのうの公共交通の例ではないですが、コミュニティバスが当然ここにも立ち寄るようになる、路線変更が行われる。そうすると公共交通の利用者がそれを伴ってふえたものを指標にしよう。

そういう意味でいうと、新駅周辺の整備が成功したかどうかというのは、何で推しはかればいいのかというイメージは湧くんですが、我々が小方地区まちづくり対策特別委員会の活動を行うことが、寄与できたのかどうかをはかる物差しをある程度イメージしておかないと、先進地へ見に行ってもですね、我々の活動がこの成功にどう寄与できたのか

ということを意図して、これを成功・失敗ということはないんですけども、どういう形で寄与できたのか、この委員会の活動はですね、それはどこではかるのかということを意図しないと、見に行っても何を見ればいいのか、何を聞けばいいのか。我々はこの委員会一切なくとも先ほどの話じゃないですけど、基本構想はできてきます。それができてきてから考えりゃええじゃないかと。委員会がなくても町が進んででき上がったと、じゃあこれ委員会が何をしたんやと、ということになりかねない気がするんですね。

だから我々は何のためにこの委員会の活動をするのか、その寄与度をどこに視点を持つのかということは事前に踏まえておくべきかなという気がしまして、ちょっと要らんことですが。

○細川委員長 行き先を決めていく中で、視察の狙いとか、成果目標などもね、しっかりと皆さんの中からもいただきながらつくってまいりたいと思います。特別委員会の存在意義が問われてしまうようなことのないように、それぞれしっかりと目標を持ってやったらと思います。ということで、きょうは6月何日でしたっけ。17ですか。17ですね。もし今から。

日域委員、どうぞ。

○日域委員 今の末広委員のお話を聞いてて全くそう思うんですけどね、じゃあこの委員会何するのかということですけど、我々は執行部じゃありませんから、うんうんと言ったときゃ多分ね、アイデア向こうから出てきます。ただそれに対していいことはいいって。よくないことはよくないという意見をきちんとした知見を持って言うために我々は動いているわけですよ。

だから向こうが8というのをそりゃ10のほうがいいよとか、8といたらそれは3でいいよとか、それをただ傍観するんじゃなくて主体的に意見を述べようと思えば、やっぱりある程度のチェックというか勉強して情報を得ておいて、しっかり頭で考えておかないと、意見出せませんよね。そういう意味で勉強するのかなと思うんですが。

やるのはやっぱり執行部ですから、議会がつくったということにはならないと思いますけども。そういう意味でいろんなことを勉強しておくこと自体は悪くはないと。当たり前のことですけども、要らんこと言わせてもらいました。

○細川委員長 ありがとうございます。

執行部が小方のまちづくり構想を具体的に事業として上げてくる前と後では、少しこの委員会の持つ役割も変わってきたように私は思っております。つくった当時はまだそこまで明確な事業を発表しておりませんでしたのでね、執行部が。前特別委員会からの引き継ぎも含めて、小方のまちづくりを大竹の活性化に向けてしっかりつくっていくために議会として何をしていくのかということで特別委員会ができていると思います。

執行部が全く進めていかないということであれば、委員会の役割は早く構想を進めなさいというのが委員会の役割でもあったかと思いますが、それに関しては構想づくりをするというふうな方向づけをさせたという意味では、まず第1歩の委員会の役割は果たしたのではないかというふうに思っておりますが、これからは中身について、委員会でしっかり研究して執行部に対して提案できるような形になればいいと思いますので、日域委員そう

いうことでよろしいですよ。

日域委員。

○日域委員 基本的にはそうだと思いますよ、ただ今回地方創生でしたよね。きのうの朝テレビでやってましたけど、結構苦戦しているというか、今回も1回目が没だったという話をきのうしてましたけど、理由はわからんのですよね。

でも確かにそれこそ失敗例を全国から選ぶんだからいろんな人がありますけども、あれ見たら相当何やったんというような町がいっぱいありますね。もちろん理由には時間短いわけですから、何か月かで出せって言われるわけですから、国もいいかげんですけどもね、そういうわけでこっちもあれですよ、コンサル使うかどうか知りませんが、十分に練り込む時間がない状態で出すわけですから、そりゃまずいですよね。

日本ってそういう国なんだと思いますが、だから逆に言うと、そういう状況が目の前に見えてはなくても、日ごろから多岐にわたってやっぱり物事ちゃんと調べて考えておくということが大事なんでしょうね。ぱっと見たってですよ、いいものが急にみつかるとは思えないところありますね。勉強することはいいことです。以上です。

○細川委員長 ありがとうございます。

それでは6月いっぱいぐらいで、綾川町のもう少し資料を集めて皆様に提供できるような形にしたいというのと、あと皆様からも、もし1泊2日ぐらいの予定にするというか、今のところこの1件だけだったら日帰りと思ってますが、近場で沿線で一緒に行けるようないいところがあるようであれば、また改めて、今月中に御提案をいただければと思います。今月中に間に合わないですかね。

今ぐらいのタイミングだと、行き先決めて向こうと交渉したら8月、盆過ぎぐらいでないと視察の日程的に難しいかなという感じであるんですけど、どんなでしょうか、もし行くとしたらスケジュールは。局長。

○福重事務局長 いつごろ行くかっていうことでしょうけども、当然9月入ったら難しいので、それまでとなると相手との調整があるんで、早くて8月、8月中ぐらいを目標に考えたらいいですかね。

○和田委員 盆明け。

○細川委員長 盆前はちょっと難しい可能性ありますよね、相手先もあるので。うちのほうもどうですかね、盆前は。

もうちょっと詰めて、8月、9月議会の前までには少し、学んで来れるような感じのスケジュールで考えたらどうかなと。

○日域委員 最初に言ったことですけどね、私鉄の場合ですよ、例えば広島電鉄という会社があって、広電と廿日市市の関係というのは物すごく運命共同体ですよ、JRのような大きい会社から見たらですよ、1個1個のまちは数ある中の単なる1つですから。だから琴電っていう会社にとってですよ、この町が琴電っていう鉄道会社にとって運命共同体的な要素があれば、そりゃあ話がすごいしやすいですからね。そういう意味でひょっとしたら参考にならないとしたら私は反対します。だからそれはそれを含めて今からですからね。この状況がわかってないですからね。

だから理想から言えば、ＪＲというようわからん変な会社なんよって皆さんが言いますけども、そういう会社とやるということが前提ですから、ここには琴平電鉄も広電も来ませんから、そういう意味じゃ違う話を持っていったら余り参考にならない、例えばＪＲに対して琴平電鉄はねって言ったら、多分踵を返してバイバイって言いますよ、彼らはね。そういうことで今から考えましょう。

○細川委員長 では日程のこともありますし、賀屋委員。

○賀屋委員 私の思いとしてはですね、駅、先ほども話しましたがけれども、駅そのものはＪＲとの協議しかないわけで、駅をつくるという方向で概略設計を発注して進めるわけなんですけど、ただ、駅ができて小中学校の跡地に何が来るのか、どういう整備になるのかによって活性化の度合いが変わってくると思うんですよ。駅はできたけども、何か寂しいものしかできんかったねと、周りがね。当初の予想よりも利用者も少ないよねということになるよりも、やはり駅を使って遠くからでも利用者といいますか、人が集まるような施設を。どういうものを持ってきたらこの小中学校の跡地が本当に集客できるのか、大竹何が足りないのかね。

そういう人がよく集まる施設とは何なのかというものをやっぱり研究しながら、小中学校の跡地というのは今から買収しないとあれだけの土地が手にいれられないというんじゃない、今から極端に言ったらすぐにでも計画を立てて、あそこへ市が30階建ての複合ビルを建てましょうと、誘致しましょうと、市が建てるより誘致しましょうと。例えば、市役所もあっち行きましょうと、ここもあと15年したら耐用年数くるわけですから。耐震性の問題もあるし、市役所もそこへテナントとして入りましょうと。保育所も入りましょうとか、福祉センターも入りましょうとか、賃貸マンションもあそこへ入りましょう、ホテルも入りましょうとそういう人が集まるような施設を誘致をして、活性化につながるようなことができるかどうか。そういう町があるかどうか。そういうものが参考になるんじゃないかなというふうに思うんですけども。

今言いましたように、方向性が出ればあそこの土地というのはすぐに活用できるわけですよ。相手がおって賠償に応じてくれなかったら前に進まんということもないので、そういう有利な状況の中でどうやって本当に活性化に結べるような、そういう集客できる施設をどういうふうにかこう集約していけるのかっていう、そういうことも含めてね、成功した町があればそれを見に行ったらどうかと。それは駅がセットでねという話です。そういうのを探さないけんわけですけど、どうやって探すかというのはありますけれども。探す方法はありますか。

○細川委員長 なかなか探すのは難しいということで皆様に御提案をということでお願いしてたんですけども、具体的な駅名とか出てこなかったということは難しかったかなということで、委員長主導で行き先はこうかということを御提案させていただきました。もう一回探してみますか、行き先を。

ただ、今回は賀屋委員も言われたし、3月のときにも駅周辺のまちづくりも含めたどう町をつくっていくのかということで、参考になるところを探そうということでしたので、新駅ありきではない、新駅だけではないということ。

日域委員。

○日域委員 賀屋さんの話を聞いた上でコメントすればですね、確かにおっしゃるとおりです。ぶっちゃけた話大願寺の件がありますけれども、あのとき水面下で何をやってたかっていうことをね、今ある程度わかってるわけですが、あのときなんか我々はですよ、議会で出てくるものをただ傍観者として待っていたと。ほんであんな広い土地はわしはようわからんと思ってましたけど、実際はわかってる人もたくさんいて、極端なこと言えば自分が買って手を挙げたらですよ、当然ある程度の情報入ってきたんだろうと思います。

中川市長のときにね、あそこの家がどのぐらい需用があるかって調べましたが、賀屋さんもあそこに座っていらっしゃる北地さんも御存じの方ですよ、自分のお金でコンサル使って調べてるんですよ、広島のコソナルとかいうか広告代理店をね。200万って言っていました、費用がね。やっぱりね、一歩ね、傍観者だったら見えませんが、1つドアを開けて入る、そういう気を持てばかなりのことわかります。

だから、例えばここにビル建てる、私もいいですよ、うまいぐあいいったらね。府中市でしたか、広島県の向こうの川のね、府中市なんか成功したんか結論知りませんが、ヒロボとかああいう連中がですよ、寄ってたかって市役所移して1個の高層ビルの中に全部入ろうという、昔出していましたけど、いろんなアイデアがあつていいんですけども、そしたら大竹のそれなりの企業の人とか、それとかどっかの広島あたりの設計事務所でもいいし、ゼネコンでもいいですし、どっかつてをたよっていけばかなりのことが聞けると思います。

そしたら執行部に近いことになりますけども、そこまでやっておけば、それは執行部から出てきたアイデアに対して、対抗とかいいものはいい、よくないものはよくないってね、意味ある発言ができます。そこまでやりますかっていう、だと思いますよね。本当にね、やっぱりねなかなか大変ですよ、やる連中は一生懸命人生かけてやっていますよね、だからそこまで言うのか、やるのか、それとも議会として委員として一応おつき合いして終わるか、その選択だと思いますけどもね。

ただ、本気でやるんだったら、新しい価値を創造するという意味では、今の賀屋さんがおっしゃったようなことは選択肢の1つとして大いにあると思いますね。私も嫌いじゃないんで、関心はあります。以上です。

○細川委員長 賀屋委員。

○賀屋委員 これは残るんですか。それはぐあい悪いな。じゃあ後にしましょう。

○細川委員長 よろしいんですか。

執行部のほうのまちづくり構想のスケジュールとの関係もあるし、こないだの総務のときの話では8月ぐらいには少し、どういうふうな持っていく方するかというのは出てきそうな雰囲気はありました。そうすると、余りいつまでもどうするかどうするかでも仕方がないと思うので、できたら8月、9月の前には1回もう少ししっかりと勉強していきたいなと私は思っておりますので、8月に視察をと思っております。行かないということであればいいですよ、行くか行かないか決めますか。見に行くか行かないか。どうでしょうか。

日域委員。

○日域委員 いつも思うんですけどね、視察に行く前にそのプレ視察というか、行っとけばおもしろいよねっていう気はするんですよ。で、行政で聞くじゃないですか、私、前にも何回か言いましたが、この大竹市に視察に来たほかの町の連中が言いますけど、そこに対してうちの執行部が説明するんですけどね、やっぱり一面的なんですよ、どうしても。そんなふうの悪いこと言いたくありませんからね。

だから、事前に行ってその辺の町のかいわいで、飲み屋でもどこでもいいですけども、情報収集しとってから、そこの行政の方の話を聞けばなるほどなって物すごく効率が上がると思います。だからそういう意味じゃあね、皆で行くことないですよ。私行くんだったら事前に1人で行ってみようかなと今思ってますけども、そういうことがあってもいいですよ。暇な人はね。

○細川委員長 御意見ありがとうございます。

行かないという御意見ないので、行くということで。あとは行き先をどこにするかですけどね、どうしましょうか。皆様からもう一度御提案を待ちましょうか。いつまで待ったらよろしいでしょうか。

さっき6月いっぱい。本会議中はちょっと難しいのかなと思うんですけど、本会議最終日までに出ます。

○日域委員 一週間もあたらいいですよ。

○細川委員長 じゃあ27が最終日でしたっけ。27までに御提案を。いいところがあるようであればお願いいたします。

で、JRだけにはこだわられません。JR以外の私電でも新駅をまちづくり構想とも合わせてつくっているところ、まあ場合によっては失敗したところでもいいかと思いますが、できたらやっぱり成功したところを見に行きたいですねっていうのはあると思いますので、新駅でまちづくりも含めてやってきたところを御紹介をお願いいたします。

またそれ見て、副委員長とも相談しながら行き先については検討して皆様にも資料をお渡しして行き先を決めると。行き先でも8月いっぱいに行こうと思ったら早いこと決めないと無理ですよ。どうしますか、もう一回委員会して決めますか、行き先。

では皆様から資料いただいたのを副委員長とも相談しながら、幾つか行き先に関しては今月中ぐらいに皆様にお知らせして、どうしてもここじゃないほうがいいということがあればまた御提案いただければいいし、そうでなければ今月いっぱいに行き先は大体決めて、日程のほうも調整していただくというスケジュールで考えていきたいと思います。

またしっかり決まったら事前勉強ということで、皆さんと行く前には時間をとって勉強したいと思いますので、まだ日程決められませんが、相談してお知らせしたいと思いますので。

じゃあ今みたいな段取りでよろしいでしょうか。それでは先進地についても方向性決まりましたので、本日の小方地域まちづくり対策特別委員会は以上で終了いたします。お疲れさまでした。

12時15分 閉会